



安曇野市

第28号

写真の記事

10月3日（木）に行われた豊科南小学校の児童による稲刈り作業です。

農業委員会だより



豊科南小学校の田んぼの手伝い

平成18年農業委員会の豊科地域委員会後の話の中で、豊科南小学校の学校田が無くなってしまい、5年生は、バケツの中で稲を育てている話が出ました。安曇野市は、田園産業都市を提唱しています。将来安曇野の田んぼを守ってくれる子供たちに、稲作りを体験させてやりたいという話になりました。学校も子供たちに稲作りを体験させてやりたい意向だったので、学校、農業委員会、農村女性学習会にも参加してもらい話が決まりました。そして学校近くの遊休農地をお借りすることができました。一年間の稲作りの計画を立て、平成19年から学校田が始まりました。子供たちが一番楽しみにしているのが、収穫祭です。稲作りの体験を通し、心に残る何かを感じ、大人になってから、安曇野の田んぼを守っていただけたらと願います。

● 主な内容 ●

| | |
|-------------------|------|
| 遊休荒廃農地を活用した陸わさび栽培 | …2 |
| 農業委員報告 | …3 |
| がんばる農業者 | …4～5 |
| 家族経営協定 | …6 |
| 農業者年金 | …7 |
| 私のおすすめ・旬の一句 | …8 |

発行日／令和元年12月4日（水）
 編集と発行／安曇野市農業委員会
 安曇野市豊科6000番地
 tel 0263(71)2497
[農業委員会事務局ホームページアドレス
 http://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/49/23279.html](http://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/49/23279.html)
 申請書、届書のダウンロードができます。

遊休荒廃農地を活用した株式会社マル井さんの陸わさび栽培の取り組み

わさび栽培の現状

豊富な地下水を活用して栽培されるわさびは、以前から安曇野市を代表する作物です。

10年ほど前は安曇野市内で1050トン程度の生産量がありましたが、現在は800トン程度に減少してきているそうです。

一方、需要は国内も海外も、健康志向や和食ブーム等もありうなぎ登りで、生産が追いつかない状況です。



試験圃場に立つ(株)マル井 松田係長さん

有害鳥獣被害による遊休荒廃農地の増加

試験圃場がある堀金三田の田多井地区は山際であることもあり、猿などの有害鳥獣により、作付けしたりんごやかぼちゃ、トウモロコシなどの野菜が被害をうけ、作付け出来ない状況となりました。

6年ほど前に山際に電気柵が設置され、侵入は少なくなりましたが、一旦荒れてしまった畑はそのまま耕作放棄された状況となりました。

株式会社マル井さんの取り組み

市内豊科で以前から各種わさび関連商品を製造販売されていた、株式会社マル井さんは、かねてから岩手県岩泉町の農家に20ha程わさび栽培を委託し加工原料として活用していましたが、市内にも、現在は遊休荒廃農地ではあるが、陸わさび栽培の適地があることに着目し、本年度より農家3戸から農地を借り受け本格的に試験圃場を作り、地元での陸わさびの栽培に着手されました。



植付け前のわさび苗



林間傾斜地での植付状況

今では昨年まで荒れていた農地は見違えるように整備され、春に植えた苗は腰の高さ近くまで成長しています。

現地で指揮をとる(株)マル井製造本部研究企画開発室係長の松田洋介さんは、「遊休荒廃農地ではありましたが、会社近くでもあり、陸わさびの栽培に適したこの場所で、試験圃場を作り栽培をはじめました。お借りした土地を有効に活用し、大事に使わせていただきながら、ここをモデル圃場として活用し、更に協賛してくれる人がいれば、生産量を増やすよう一緒に取り組んで行きたいと考えています。陸わさびの栽培が、遊休荒廃農地の削減や、農家の所得向上につながり、地域に貢献できれば幸いです。」と話されました。

遊休荒廃農地解消へ向けた取り組み

安曇野市農業委員会では各地域で荒廃農地や遊休農地を減らすための取組を行っています。地域農業を守るために多くの地元農業者の方や農業委員、農地利用最適化推進委員が活動を行っています。今回は三郷地域の取組を紹介します。



荒廃農地取り組み前



再生作業終了後



ホイルローダーによる集積作業



自走式草刈機で草刈

【農地を守る】

三郷地域委員会では、市内の地区内に存在する荒廃農地を、どのようにして解消していけばよいのか相談の結果、平成26年度に「三郷地域の農業を守る会」を設立しました。遊休荒廃農地の所有者に対する解消の理解を頂く取組からスタートし、自ら解消できない圃場について、各委員がチェーンソーやバックホウ・ホイルローダー・フレールモア等々を持ち寄り、解消作業を実施しています。農業委員・農地利用最適化推進委員・JA 営農センター・(株)かまくらやさんの協力で、守る会一丸となって推進しております。

将来の農地の保全に向けて邁進したいと考えています。

三郷地域長 宮澤 貞仁



樹木の抜根作業にバックホウ登場



草刈機を持ち寄り一斉に草刈作業



がんばる農業者



飯沼さんの長芋畑



飯沼 竜也さん

息子の永遠さん(小学校3年生)
(穂高 牧地区)

経営面積等

野菜 2.5ha 稲作 1.5ha

主に加工トマト・サニーレタス・レタス等

- Q** 永遠さんが農業に興味を持ったきっかけは何ですか？
- A** 3歳ころからパパやじいちゃんたちと畑に出ていて、ニンジン抜きのお手伝いをしたことです。
- Q** お父さんたちの手伝いをして楽しいことはなんですか？
- A** 野菜などの種をまき、芽が出て育っていくのを見ているのが楽しいです。
- Q** 現在永遠さんが取り組んでいることを教えてください。
- A** 自分で一から野菜を育てて直売所に出荷しています。フラガール(フルーツトマト)の栽培に力を入れ、パパの作ったフルーツトマトとどっちが



ニンジンの収穫



農作業の合間の家族でお茶の時間

おじいさんやお父さんの手伝いをしながら、一緒に農業をがんばっている永遠さんに話を聞きました。



イベントで長芋の販売

A 今後も自分で野菜をたくさん作って直売所に出すのでよろしくお願います。

- Q** 売れるか競って出しています。今後の目標を教えてください。
- A** 直売所のお客さんに喜んでもらえる野菜をいっぱい作りたい。そして人気のある野菜の量を増やして、僕の野菜をみんなに食べてもらいたいです。
- Q** では、最後にお客さんへメッセージをお願いします。
- A** ツセージをお願いします。

がんばる農業者



降旗 賢司さん

(三郷 及木地区)

経営面積等 稲作 15ha

Q 降旗さんが農業をはじめたきっかけは何ですか？

A 小さい頃から手伝っていた事が、大人になって自然に自分の仕事になっていました。今思うと祖父、父の仕事をやっている姿に憧れていたと思います。

Q 農業経営を行う中で大変なのはどんなことですか？

A 自分が作ったお米を食べている人達が安心して1年間食べられるように品質管理をすることです。肉体的な仕事が多くて大変ですが、食べた方の「おいしい」という一言ですべてが報われます。

Q 現在取り組んでいることを教えてください。

A 品質向上のため一からお米の勉強をしています。



稲刈り作業中

Q 今後の目標を教えてください。

A 自分が住んでいる及木地区でも多くの田んぼの作業ができなくなってきたと思います。私は小さい頃から地域の人達に育ててもらって、ここまでできるようになったので、今後は田んぼのお手伝いが少しでもできればと思っています。将来的には及木全ての田んぼで作物を育てていきたいと思っています。



初摺り作業中の降旗さん



和太鼓保存会の事務局をやっています。

Q では、最後に地域の皆さんへメッセージをお願いします。

A 今自分が農業をやっているのも、一人の力ではありません。地域の人達のおかげだと感謝しています。未熟な所があると思いますがこれからも、頑張っていきますのでよろしく願います。また、8歳の頃から和太鼓を兄弟三人でやっています。今では「浅間温泉火焰太鼓」で副会長として県内外又は海外での演奏をやっています。指導者としても近くの小学校や、いろんな所で太鼓指導もしています。農業と和太鼓の両立をこれからもしていきたいと思っています。



降旗さんとトラクター



家族経営協定セミナー



家族経営協定調印式の様子

家族のお互いの個性、能力を認め合い、より良い経営を営めるよう、家族内の決まりを作つてまとめたものが「家族経営協定」です。平成7年にこの制度が始まりました。

現在安曇野市では、97件の家族が家族経営協定を締結しています。今年2月には新たに3件の家族が協定の締結を行い、7件の見直しを行いました。本年度もセミナー等を開催し引き続き推進してまいります。



家族経営協定調印式の様子

家族経営協定を 結びませんか



合同調印式の協定者の皆さん

ライフステージの節目に
家族で話し合ってみませんか

夫婦二人での農業経営を
お互いが自立した農業者として対等な立場で
経営を築く

後継者が就農する時期に
後継者にやる気・興味・自信を持たせる

後継者が結婚する時期に
家族の一員として配偶者を迎え、親夫婦との
円満な人間関係を作る

経営移譲をする時期
スムーズな経営・家事の移譲と親夫婦の
生活保障に



皆さんも、配偶者や後継者と一緒
にやりがいのある農業経営を目指
しませんか？詳しくは、お近くの
農業委員・推進委員もしくは農業
委員会事務局（71-2497）まで

農業者の方は、**国民年金上乗せの公的年金「農業者年金」**に加入して安心で豊かな老後を！

知って得する農業者年金

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！



①年間 60 日以上農業に従事し、国民年金第 1 号被保険者（保険料免除者を除く。）である 60 歳未満の方が加入できます。

高齢農家世帯の家計費は、月額約 23 ～ 24 万円というデータがあります。

国民年金の支給額は、最大で一人あたり月約 6 万 5 千円。

これを夫婦でもらっても毎月 10 万円の赤字ですので、国民年金の上乗せ年金として農業者年金に加入しましょう。

②農業者年金は、積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い。

農業者年金は、経営状況や老後の生活設計に応じて、保険料を加入後いつでも月 2 万円～6 万 7 千円の範囲で、千円単位で変更でき、年払いもできます。また、途中で脱退・再加入もできます。なお、脱退した場合、払った保険料は年金を受給するまで運用し続け、加入期間に関わらず、年金として受給できます。（脱退一時金はありません。）



死亡一時金もあり安心

仮に 80 歳前に亡くなられた場合は、死亡した翌月から 80 歳到達月までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の相当額が死亡一時金として遺族に支給されます。

農業者年金に関する

お問い合わせは

お近くの JA 各支所又は農業委員会事務局（71-2497）まで

私のおすすめ



内川 純子さん

我が家には栗の木が1本有り沢山収穫するので、渋皮煮、栗ごはん、赤飯、栗クリーム入りケーキ、栗のスープ等色々な利用し、楽しんでます。その中で正月や祭りに作る「栗の茶巾絞り」をご紹介します。

- 作り方**
- ①生栗は洗い30分〜40分茹でる。
 - ②①を半分に切り、スプーンで実をかき出し、すり鉢でする。
 - ③②を鍋に入れ、砂糖を加え軽く練り、牛乳を加え最後にバター、シナモン、塩を加えて火を止める。
 - ④③が冷めて少々硬くなったら、30gの大きさに丸め、ラップで包み型を整え上部を絞り出来上がり。

| | |
|---------------|-------|
| 生栗を茹でてかき出したもの | 500g |
| 砂糖 生栗の2割 | 100g |
| 牛乳 | 50cc位 |
| バター | 大さじ1 |
| シナモン | 少々 |
| 塩 | 少々 |
| 抹茶 | 少々 |

材料 (22個位出来ます)

「栗の茶巾絞り」をご紹介します

※色が地味なので、上部に抹茶を茶こしを通して振りかけてみました。また、好みで④に火を止めてからラム酒を入れても良いでしょう。

旬の一句・一首

ワイワイと

稲刈り取し

4年生

豊科 中島 完二 委員

深更に

旋風過ぎし朝の虹

見廻る畑

安堵の服

徳高 佐原 悦司 委員

希望持ち

令和元年

暮の春

三郷 水野 こうし さん

夏ばての

仔犬返事は

尾をふりて

堀金 青柳 邦栄 さん

雄大な

北アルプスを背におきて

田んぼアートの

見ごとな「いだてん」

明科 高橋 賢子 さん

編集後記

隣家の友人H氏夫婦は、二十数年前関西から移り住んだ俗に言う「風の人」、私共と同年代だ。農繁期には夫婦揃って手伝って頂く程良好な関係である。

H氏の所有する土地は住宅地のみ。しかし本当の警沢を知っている。借地の田畑で小麦やそばを栽培、パン麺類を、十数種類の野菜、味噌にコンニャク迄も手造りだ。今年は稲作も、勿論手植えに、はぜ掛け米だ。これらが毎食卓に上がる。安曇野でこの生活なのだから、故郷の仲間はずかし羨ましがっているだろう。H氏の生活は本当に警沢なのであろうか。

警沢の定義は、自分にふさわしくないおごりをする事とある。手造りの食料を食卓に上げる事が、最も安全で安心ではないでしょうか。

四十年余り農業に就いている私は、H氏夫婦と良好な関係を保ちながら注視し、農業と食について改めて考える年齢となっている。皆さんも少しだけ手間の掛かる警沢を試してみませんか。

編集委員 佐原悦司

【農業委員会だより編集委員会】

編集委員長 河上 賢

委員 安田 洋子

北林 澄子

長崎 要

佐原 悦司

小澤 守

猿田 久雄

藤原 秀二